

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 永大化工株式会社
 コード番号 7877 URL <http://www.eidaikako.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 和田正行
 (氏名) 櫛田淳一

TEL 06-6791-3355

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,503	△31.2	△79	—	△50	—	△7	—
21年3月期第1四半期	2,185	—	12	—	8	—	8	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△1.12	—
21年3月期第1四半期	1.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	8,146	4,958	60.3	716.30
21年3月期	8,397	4,917	58.0	711.02

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 4,910百万円 21年3月期 4,874百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

※現時点において、期末配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,907	△32.8	△25	—	△22	—	△30	—	△4.38
通期	6,119	△24.5	86	—	93	—	79	—	11.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 7,300,000株 21年3月期 7,300,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 444,167株 21年3月期 444,167株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 6,855,833株 21年3月期第1四半期 6,858,020株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、平成22年3月期の配当予想につきましては、事業環境の先行き不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合的に勘案した上で速やかに開示するものいたします。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融恐慌により大きな影響を受けた景気の急激な悪化に底打ちの兆しが見えてきたものの、依然として企業収益の低下や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷など厳しい経済環境が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおける業績の概況は次の通りとなりました。

自動車用品関連につきましては、国内における自動車の販売状況は、エコカー減税や買い替え補助策の効果により、一部の車種においては販売が好調であったものの、全体としては引き続き販売が大きく低迷していることから、OEM純正フロアマットの売上が減少しました。

産業資材関連及びストランドックス合成木材の販売につきましては、住宅需要の低迷から住宅関連用部材の売上が減少しました。また、オフィス需要の低迷などにより鋼製家具用部材の売上についても減少することとなりました。ストランドックス合成木材による、エクステリア関連メーカーへのデッキ材等の販売も同様に需要低迷が影響し売上は減少しました。

このような結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は15億3百万円（前年同期比31.2%減）となりました。

利益につきましては、全社をあげてコスト削減に注力しましたが、売上高の大幅な減少に伴う、固定費の負担増加などにより、営業損失79百万円（前年同期は営業利益12百万円）、経常損失50百万円（前年同期は経常利益8百万円）となりました。また、夏季賞与を不支給としたため、賞与引当金戻入額として46百万円を特別利益としたことから、四半期純損失が7百万円（前年同期は8百万円の四半期純利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における当社グループの財政状態は次の通りとなりました。

<資産の部>

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は81億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億51百万円減少しました。

(流動資産)

流動資産では現金及び預金の増加1億32百万円、売上債権の減少4億6百万円、たな卸資産の減少28百万円、その他流動資産の増加22百万円などが主な要因であり、45億74百万円と前連結会計年度末と比べ2億81百万円の減少となりました。

(固定資産)

固定資産では有形固定資産の減少20百万円、投資その他の資産の増加50百万円などが主な要因となり、35億71百万円と前連結会計年度末と比べ29百万円の増加となりました。

<負債の部>

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、31億87百万円と前連結会計年度末と比べ2億93万円の減少となりました。

(流動負債)

流動負債では仕入債務の減少70百万円、短期借入金の減少13百万円、賞与引当金の減少25百万円、関係会社整理損失引当金の減少21百万円、その他流動負債の減少1億20百万円などが主な要因となり、20億6百万円と前連結会計年度末と比べ2億57百万円の減少となりました。

(固定負債)

固定負債では長期借入金の約定返済による減少61百万円、繰延税金負債の増加16百万円、退職給付引当金の増加16百万円などが主な要因となり、11億80百万円と前連結会計年度末と比べ35百万円の減少となりました。

<純資産の部>

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金の減少及び評価・換算差額等の増加などにより、49億58百万円と前連結会計年度末と比べ41百万円の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日付の平成21年3月期決算短信で発表した平成22年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,035,354	902,808
受取手形及び売掛金	1,843,796	2,249,929
有価証券	128,836	130,670
商品及び製品	774,700	801,792
仕掛品	148,698	184,724
原材料及び貯蔵品	551,241	516,494
その他	91,959	69,465
貸倒引当金	△72	△69
流動資産合計	4,574,515	4,855,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,139,367	1,149,919
土地	1,549,284	1,549,284
その他(純額)	441,232	451,021
有形固定資産合計	3,129,884	3,150,225
無形固定資産	3,842	4,264
投資その他の資産	437,760	387,334
固定資産合計	3,571,488	3,541,825
資産合計	8,146,003	8,397,642
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	998,658	1,068,750
短期借入金	314,400	327,600
1年内返済予定の長期借入金	294,276	293,836
未払法人税等	3,959	11,481
賞与引当金	23,959	49,284
関係会社整理損失引当金	199,142	220,909
その他	172,598	292,892
流動負債合計	2,006,994	2,264,754
固定負債		
長期借入金	591,599	652,671
繰延税金負債	53,672	36,715
再評価に係る繰延税金負債	373,470	373,470
退職給付引当金	105,747	89,234
役員退職慰労引当金	54,120	54,767
その他の引当金	—	4,254
その他	1,454	4,328
固定負債合計	1,180,064	1,215,441

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債合計	3,187,058	3,480,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,203,754	1,203,754
利益剰余金	2,933,385	2,941,088
自己株式	△171,909	△171,909
株主資本合計	5,206,929	5,214,632
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,668	△22,824
繰延ヘッジ損益	△9,893	△12,307
土地再評価差額金	△33,160	△33,160
為替換算調整勘定	△256,707	△271,717
評価・換算差額等合計	△296,093	△340,009
少数株主持分	48,108	42,822
純資産合計	4,958,945	4,917,446
負債純資産合計	8,146,003	8,397,642

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,185,997	1,503,653
売上原価	1,763,047	1,235,661
売上総利益	422,949	267,991
販売費及び一般管理費	410,716	347,920
営業利益又は営業損失(△)	12,233	△79,928
営業外収益		
受取利息	1,969	873
受取配当金	1,515	1,220
為替差益	—	24,549
投資有価証券運用益	4,893	—
助成金収入	7,000	—
その他	3,933	11,899
営業外収益合計	19,311	38,542
営業外費用		
支払利息	2,508	5,661
為替差損	20,374	—
その他	544	3,179
営業外費用合計	23,427	8,840
経常利益又は経常損失(△)	8,117	△50,225
特別利益		
固定資産売却益	5,091	513
賞与引当金戻入額	—	46,500
特別利益合計	5,091	47,013
特別損失		
固定資産売却損	—	48
固定資産除却損	444	117
特別損失合計	444	165
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	12,763	△3,377
法人税、住民税及び事業税	2,414	3,768
法人税等調整額	2,121	△1,169
法人税等合計	4,536	2,598
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△741	1,726
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,968	△7,703

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	12,763	△3,377
減価償却費	66,305	44,547
長期前払費用償却額	21,806	12,631
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△112	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,601	△25,325
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,510	△647
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,298	16,513
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△21,766
受取利息及び受取配当金	△3,485	△2,093
支払利息	2,508	5,661
投資有価証券運用損益(△は益)	△4,893	—
固定資産売却損益(△は益)	△5,091	△465
固定資産除却損	444	117
売上債権の増減額(△は増加)	110,204	406,133
たな卸資産の増減額(△は増加)	△146,592	28,370
仕入債務の増減額(△は減少)	196,595	△70,092
その他の資産・負債の増減額	△88,665	△138,181
その他の損益(△は益)	3,337	△1,436
小計	203,536	250,591
利息及び配当金の受取額	6,048	2,729
利息の支払額	△2,462	△4,288
法人税等の支払額	△15,449	△9,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,672	239,177
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,214	△14,483
有形固定資産の売却による収入	42,169	868
投資有価証券の取得による支出	△1,167	△1,227
投資有価証券の売却による収入	52,575	—
貸付けによる支出	—	△7,500
その他	400	△6,152
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,763	△28,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△13,650	△13,200
長期借入金の返済による支出	△48,469	△73,459
自己株式の取得による支出	△84	—
少数株主への配当金の支払額	△7,512	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,716	△86,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,759	6,688
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	189,479	130,711

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
現金及び現金同等物の期首残高	775,712	1,033,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	965,191	1,164,191

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。